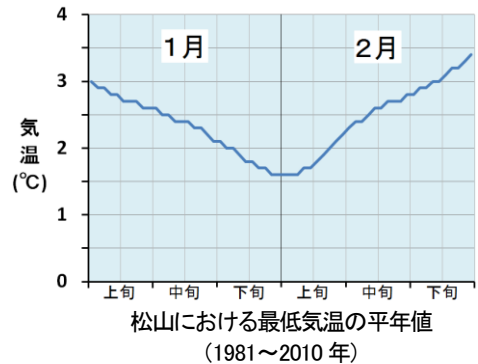




## 【1月の気象】

- ▷ 1月は、冬型の気圧配置となる日が多く、大陸から高気圧が張り出すときも北の冷たい空気を日本付近へ引き下ろすため、年間で最も寒く、雪の降る日が多い月です。平年値(1981～2010年)によると、月平均気温は松山で6.0℃、宇和島で6.8℃、松山の1月の雪日数は7.1日です。
- ▷ 冬型の気圧配置が強まる場合は、北西の強風、大雪、低温に注意が必要です。特に北西の季節風が関門海峡から流れ込む場合は、山間部を中心に雨や雪の天気となり、平地でも大雪となることがあります。
- ▷ 2018年の1月から2月上旬にかけての全国的な大雪や低温は記憶に新しいですが、2016年1月も、強い冬型の気圧配置に伴う強風や大雪と低温によって、県内で農業被害が発生しました。



## 【気象用語】「真冬日」「冬日」とは

「真冬日」とは、日最高気温が0度未満の日です。過去に松山で5日、宇和島で2日観測されています。

日最高気温の低い順(℃)	-1.2	-0.7	-0.5	-0.4	-0.1	0.3	0.5
松山 (統計開始:1890/1)	(1977/2/16)	(1936/1/17)	(1895/2/21)	(1943/1/12)	(1984/2/7)	(1976/12/27)	(1981/2/26)
日最高気温の低い順(℃)	-1.0	-0.2	0.2	0.3	0.5	0.7	0.8
宇和島 (統計開始:1922/4)	(1977/2/17)	(1977/2/16)	(1984/2/7)	(1943/1/12)	(1985/1/14)	(1981/2/26)	(1970/1/16)

「冬日」とは、日最低気温が0度未満の日です。松山における平年値(1981年～2010年の30年間)では、12月の冬日の日数は0.7日、年間では12.8日となっています。

地球温暖化や都市化の影響で、年ごとの最低気温は上昇傾向にあり、冬日の出現日数も減少しています。

